

固定資産評価審査委員会委員の選任

平成27年第1回市議会定例会において、小田部修一さん(大串)と池田久男さん(下妻成・田町)を固定資産評価審査委員会委員に選任することが同意されました。

任期は、平成27年3月29日から平成30年3月28日までの3年間です。

固定資産評価審査委員会委員は、納税者が固定資産課税台帳に登録された価格について不服があった場合、その申出を受けて審査をします。



小田部 修一さん (大串)



池田 久男さん (下妻成・田町)

常総ひかり農業協同組合と「災害時における物資の調達に関する協定」締結

常総ひかり農業協同組合(草間正詔・代表理事組合長)と市は3月23日、市役所本庁舎会議室で、「災害時における物資の調達に関する協定」を締結しました。

協定内容は、災害時に市の要請により、米や野菜など農作物の提供を受けるというものです。市はこれまで団体や企業などと28の災害協定を締結してきましたが、米や野菜などの農作物を扱う団体との協定は、今回が初めてとなります。

協定書を取り交わした稲葉市長は「新聞報道等でも取り上げられる首都直下地震や茨城県南部地震など大きな災害が発生した場合には、食糧となる米や野菜の提供は命をつなぐためにも必要不可欠であり、市民の不安解消にもつながる。大変心強く感じている」と感謝し、草間代表理事組合長は「災害時には組合員と一緒に頑張って対応に徹したい」と力強く語りました。



協定書に調印し、取り交わす稲葉市長(左)と草間代表理事組合長(右)

行政改革の進捗状況をお知らせします

市では平成23年度に策定した「第4次下妻市行政改革プラン2011-2015」に基づき、行政改革に取り組んでいます。

このほど、平成26年12月末時点の行政改革の進捗状況の取りまとめが完了し、市民の代表により構成される行政改革懇談会に進捗状況を報告しました。その概要は次のとおりです。

■平成26年度中の主な取組(抜粋)

専門職の連携

保健師の連携強化を図るため、福祉課・介護保険課・保健センター3課合同にて職場内研修会を月1回開催した。

企業誘致による財源確保

茨城県、県開発公社等と連携し、企業誘致活動を継続して実施中である。平成23年度当初からは6社の企業誘致に成功している。

システム更新時の経費削減

ITコーディネーターによるコスト評価を実施し、システムや機器の導入経費の節減を図った。

※報告書の詳細は、市ホームページで公開しています。

また、企画課企画調整係(本庁舎2階)窓口でも閲覧できます。



問い合わせ 企画課 ☎43-2113

評価基準と平成26年度取組状況

区 分		件数	比率(%)
完 了	事業等が実施され、完了したもの	3	3.5
実 施	制度の導入や事業が実施され、今後、制度の運用等、継続的に実施していくもの	71	83.5
取組中	まだ実施されていないもの	11	13.0
合 計		85	-



慎重な審議が行われた行政改革懇談会(3月20日、市役所第二庁舎で)

地域の活性化に期待「三道地ポケットパーク」完成

地域の活性化や、にぎわいのある街づくりを目指す「砂沼周辺地区都市再生整備計画事業」の一環として、地域住民などによるワークショップなどを通じて市民協働で整備を進めてきた「三道地ポケットパーク」がこのほど完成し、3月27日にお披露目式が行なわれました。地域住民や三道地商店会の役員、市職員など約20人が参加しました。

完成したポケットパークは、面積373平方メートル。ウッドデッキを基調とした広場にベンチや手洗い水栓などが設置され、中央部のシンボルツリー周辺にはイルミネーションなどのイベントに備え電源設備が整備

されています。

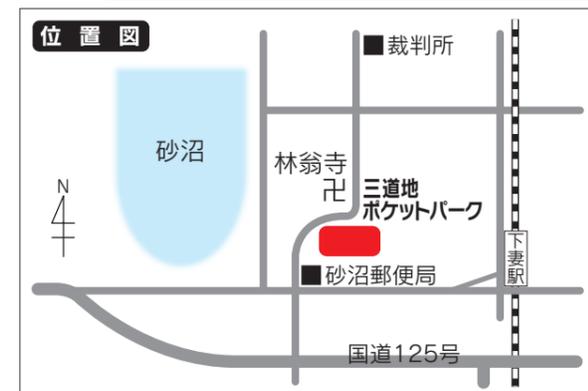
ポケットパークの完成を喜ぶ三道地商店会の杉山好昭会長は、「ワークショップを通じて、地元や商店会の要望を伝えることができてよかった。ウッドデッキ風のやわらかいイメージに仕上がり、子どもが遊ぶにも、イベントをやるにもいい感じです。夏には納涼祭をやってみたい。また町内でも有効に活用していきたい」と地域の活性化に期待を寄せました。

式の最後には、参加者全員でシンボルツリーの下にブランドカバーを記念植樹し、完成を祝いました。

問い合わせ 都市整備課 ☎45-8128



シンボルツリーの下にブランドカバーを記念植樹する地域や商店会の皆さん



全国から「ふるさと下妻寄附(ふるさと納税)」をいただきました

平成26年度寄附額：489万4千円(142件)

平成20年度の開始から寄附件数が年々増加している「ふるさと下妻寄附(ふるさと納税)」。

平成26年度は、全国から142件、総額489万4千円の寄附をいただき、平成20年度からの寄附の累計額は2,900万円を超えました。

市では、皆さんから寄せられた寄附金をいったん基金として積み立てた後、寄附者のご要望に応じて各種事業に充当しています。

なお、寄附された方の中で、お名前の公表に承諾された方については、市ホームページに掲載しています。心温まるご寄附ありがとうございます。

問い合わせ 企画課 ☎43-2113



平成26年度の活用状況

「ふるさと下妻寄附(ふるさと納税)」の平成26年度の活用状況は次のとおりです。

■安全安心都市に関する事業

(福祉・子育て・医療・防災・防犯等)

○市消防団へ消防ポンプ自動車の配備



「ふるさと下妻寄附」を活用して購入した消防ポンプ自動車(平成26年11月13日納車)

寄附者からのメッセージ(一部抜粋)

- ▼実家があります。よりよい街になります様に。
- ▼茨城というと水戸納豆が一番に思い浮かぶのですが、今回の寄附を機に、下妻について知りたいと思います。ユニークなPR活動、応援しています。
- ▼のんびりしていてリフレッシュできる街、たまに行きたくなる昭和?の街。下妻の発展を期待しています。
- ▼これからも地域産業の発展をお祈りします。
- ▼生まれ故郷の下妻の一層の発展をお祈りします。
- ▼父の実家、田舎なので少しでも応援できたらと思い寄附させていただきました。頑張ってください。
- ▼子ども達が世界に通じる国際人となるように育てて頂きたいと思います。
- ▼私の本家の隣の市です。地方活性化頑張ってください。